

単元の課題：表現の効果に注意して、筆者の思いが伝わる詩の朗読をしよう！

【言語活動の設定：数枚の写真を組み合わせ、それを背景に朗読する動画を作る】

ICT活用のポイント

- ・**プレゼンテーションソフト**：第1時と第4時で作成した朗読動画を**比較**することで、読みの変化に気付かせ、学びを振り返る。
- ・**地図アプリ**：大阿蘇の様子を**様々な角度から見る**ことで、詩の情景をより深く理解する。
- ・**アンケートフォーム**：どの写真を何人選んだか（集計）を**即座に確認**することで、写真を選んだ理由を活発に交流する。
- ・**表計算ソフト**：一人一人が表現した「本時のまとめ」や、「振り返り」を、ICTの即時性を生かして、**全員で共有**する。

本時のねらい：朗読動画の背景にふさわしい写真を選び、根拠を明確にして、詩の情景や筆者の思いを
考えることができるようにする。



【つかむ】

単元の課題とこれまでの学習を確認し、本時のめあてをつかむ。

事例の概要

○単元の課題とこれまでの学習を確認し、めあてをつかむ。

<めあて>

朗読動画の背景にふさわしい写真を選ぼう！

【追究する】

筆者の思いが伝わる朗読をするために、朗読動画の背景にあう写真を選ぶ。

どの写真を選んだのかを学級全体で確認し、意見交流を行い、朗読動画の背景写真を決定する。

背景に合わせて、試し読みをする。

【事例におけるICT活用の中心場面】

○朗読動画の背景にふさわしい写真を、**プレゼンテーションソフトにある12枚の写真の中から3枚選び**、選んだ理由をまとめる。 **【活用場面①】**

○どの写真を選んだのかについて、学級の状況を**アンケートフォームで可視化**し、互いの選択の理由を交流し合い、最終決定する。 **【活用場面②】**

※「もしも百年が～」の一文のみが情景描写でないことに気付く。

○選んだ3枚の写真とその理由をワークシートに記入し、**プレゼンテーションソフトで試し読み**をして、どの写真で詩のどこまでを読むのかを考える。 **【活用場面③】**

【まとめる】

何を学んだのかを確認し合い、学習の振り返りをする。

○生徒一人一人が考え、表現したことを**表計算ソフト**を用いて、確認し合う。

※表現すること ①本時のめあてと正対する「まとめ」

②本時の「振り返り」

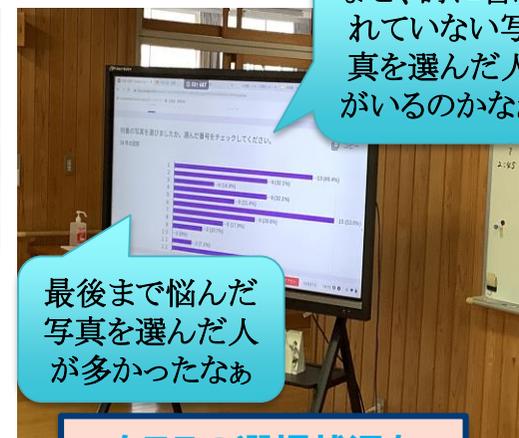
【活用場面④】

【国語科・中1 詩の朗読『大阿蘇』（光村図書1年）】②

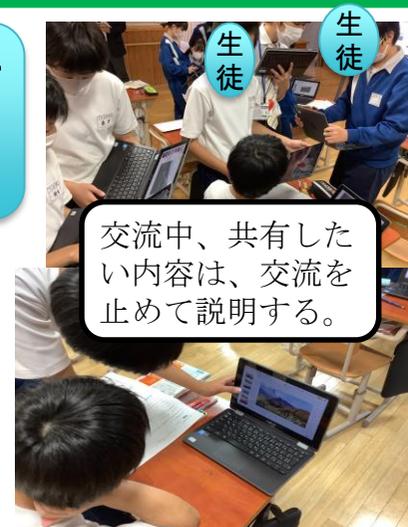
【事例におけるICT活用の主な場面①・②】



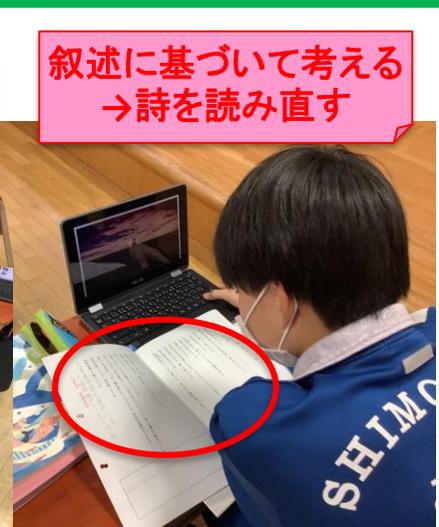
【写真を3枚選ぶ場面】



クラスの選択状況を可視化する



【写真を選んだ理由を交流し、最終決定する場面】



- 前時に**地図アプリ**を使って、阿蘇山周辺の様子を確認し、情景を把握しているため、スムーズに写真選びに入ることができた。
- プレゼンテーションソフト**にある**12枚の写真の中から、比較しながら3枚を選択**することで、自分なりの理由を考えることができていた。 → 活発な交流活動へ

- 情景にない写真を選んだ生徒との**交流の中で**、「もしも百年がこの一瞬の間に～」の**一行に気付く**ことができた。（この一行だけが情景でなく筆者の思いを込めている）
- 交流前と後とは、写真を選んだ理由をより具体的に書いていた生徒が多くなるとともに、**最終決定する際に、教科書の詩を何度も読み返していた生徒が増えた。**

【事例におけるICT活用の主な場面③】

- プレゼンテーションソフト**で背景を決めると、早く試し読みをしたいという声があがった。
- 試し読みしたものを何度も聞き、背景と詩の情景を考えながら修正していた。



【事例におけるICT活用の主な場面④】

自己評価の集計を基に、教師自身の授業の振り返りを行う